

ヒヤリハット情報を用いた安全管理支援手法

宮地由芽子 板谷創平 村越暁子 岡田安功 羽山和紀
鏑木俊暁 畠山直

ヒューマンエラーの背景要因を分析する「鉄道総研式ヒューマンファクタ分析法」では、エラー事象の数が多い場合に調査や分析は時間を要します。そこで、分析を効率的に行うため、リスク情報を活用した新しい手順(図)を提案しました。

従来は、時系列対照表を用いて、「システムが要求している目標」と「実際の行動」とのズレを「逸脱」として特定し、その全てを分析対象としていましたが、本手法では、ヒヤリハット等のリスク情報を用いてリスクが大きいエラーを特定し、分析対象を限定します。また、特定されたヒューマンエラーの背景要因を論理的に探るため、「なぜなぜ分

析の支援ツール」を作成しました。さらに、背景要因の分析結果に基づいて対策を検討する際に、「関係者への注意」等の一時的な是正対策よりも作業の仕組みの改善を促すため、「ヒューマンファクタ対策検討フロー」を作成しました。

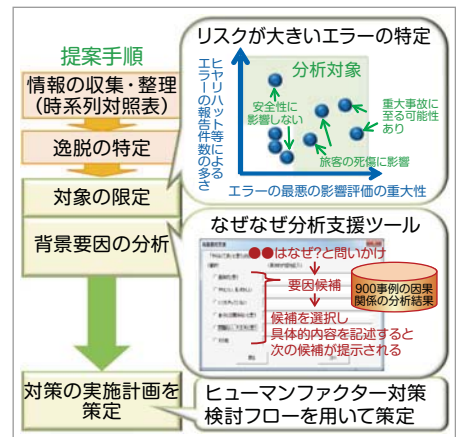


図 リスク情報を活用したヒューマンファクタ分析法の概要